

平成17年度 活動報告

(2005年度)



流水の海の動物観察会

1. 運営	60
2. 教育普及	62
3. 調査研究・資料収集	66
4. 文化財保護	68

1. 運 営

1. 平成 17 年度の投資的事業

事業名	予算	内 容	担当
しれとこライブラリー刊行事業	2,216	第7巻「知床の植物Ⅱ」の刊行 第8巻「知床の地質」の編集	内田 合地
国道緊急発掘調査	55,835	一般国道334号ウトロ道路改良工事に伴う発掘調査	松田
来運1遺跡発掘調査費	13,907	炭化建材出土の建物跡の保存を目的とした発掘調査	松田

2. 予算(当初)

1) 博物館費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算
報 酬	131	役 務 費	1,607
共 済 費	376	通 信 運 搬 費	596
賃 金	126	手 数 料	996
報 償 費	817	保 険 料	15
旅 費	461	委 託 料	5,192
需 用 費	8,804	使用料及び賃借料	416
消 耗 品 費	1,073	原 材 料 費	90
食 料 費	8	備 品 購 入 費	180
印 刷 製 本 費	3,002	負担金補助及び交付金	65
燃 料 費	601	公 課 費	26
修 繕 料	453		
光 熱 水 費	3,517	合 計	18,291
飼 料 費	150		

2) 文化財保護費

(千円)

費 目	予 算
報 酬	33
賃 金	392
旅 費	60
需 用 費	109
消 耗 品 費	16
印 刷 製 本 費	6
修 繕 料	18
光 熱 水 費	69
役 務 費	63
通 信 運 搬 費	63
負担金補助及び交付金	117
合 計	774

3) 国道緊急発掘調査費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算	費 目	予 算
給 料	3,849	消 耗 品 費	762	通 信 運 搬 費	204
職 員 手 当 等	2,994	印 刷 製 本 費	331	手 数 料	619
共 済 費	5,161	燃 料 費	236	委 託 料	7,066
賃 金	32,559	修 繕 料	54	使用料及び賃借料	1,602
旅 費	222	光 熱 水 費	176		
需 用 費	1,559	役 務 費	823	合 計	55,835

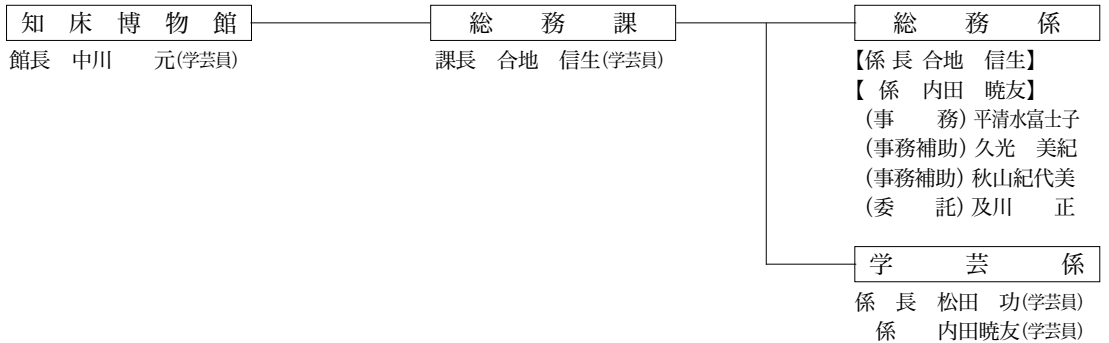
4) 来運1遺跡発掘調査費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算	費 目	予 算
共 済 費	1,017	印 刷 製 本 費	566	使用料及び賃借料	486
賃 金	6,891	燃 料 費	20	工 事 請 負 費	278
旅 費	848	役 務 費	27	補償補填及び賠償金	67
需 用 費	2,027	通 信 運 搬 費	27		
消 耗 品 費	1,441	委 託 料	2,266	合 計	13,907

3. 組織・職員

■斜里町立知床博物館



■斜里町埋蔵文化財センター



■博物館協議会 (任期:平成 17 年 4 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日)

会長 高橋 信広 委員 佐々木徳幸 内山 博之 鎌田 貴義 村上 涼子
副会長 高木 寿一 植木 玲一 岩見 慶一 相内 勝也 橋本 勝

■文化財調査委員会 (任期:平成 17 年 4 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日)

会長 河村 淳史 副会長 島多 哲夫 委員 河面 正吾 門馬 恵彦 今井 文雄

4. 博物館利用状況

平成 17 年度より入館料を改訂した。高校生を一般に含め、一般のみを有料とした。

全入館者

月	一般	高校生	小中学生	幼児	計	有料入館者	開館日数	一日平均入館者(有料)
4月	681	138	99	16	796	311	26	31 (12)
5月	907	7	122	91	1,120	672	26	43 (26)
6月	1,080	121	103	85	2,268	580	26	49 (22)
7月	2,109	85	381	110	2,600	1,010	28	93 (36)
8月	1,604	33	323	65	1,992	1,224	26	77 (47)
9月	1,381	5	109	94	1,584	856	24	66 (36)
10月	1,145	14	129	97	1,371	773	25	55 (31)
11月	522	0	229	6	757	300	24	30 (13)
12月	293	2	110	9	412	96	24	17 (4)
1月	261	59	18	12	291	134	21	14 (6)
2月	771	2	48	11	830	495	23	36 (22)
3月	695	21	60	50	805	426	26	31 (16)
合計	11,419	487	1,731	646	13,826	6,877	299	46 (23)

団体入館者

月	町内団体		町外団体		合計	
	件	人数	件	人数	件	人数
4月	3	63	1	125	4	188
5月	2	20	8	241	10	261
6月	3	88	5	113	8	201
7月	1	8	11	233	12	241
8月	1	14	6	168	7	182
9月	2	44	9	218	11	262
10月	0	0	16	341	16	341
11月	5	195	4	73	9	268
12月	1	23	1	28	2	51
1月	0	0	2	13	2	13
2月	1	5	16	201	17	206
3月	1	4	11	99	12	103
合計	20	464	90	1,853	110	2,317

2. 教育普及活動

1. ロビー展・特別展

期 日	題 名	内 容	参加者	担当
(ロビー展) 9月1-15日 9月21日-10月2日	しれとこ植物画同好会展 はた織り会作品展	博物館を活動の場とする植物画サークルの作品展 博物館を活動の場とするはた織り会と日の出学園生徒の作品展	889 566	内田 松田
2月15日-3月17日 (特別展) 10月8日-12月4日	後藤昌美写真展「イウォル 知床・生命の聖域」 第27回特別展「世界遺産・知床」	知床の自然を主題とした2005年発行の写真集「IWOR」につかわれた写真のパネル展 知床の自然・生物多様性の特徴や、これまでの人と自然の歴史をパネルや標本などをつかって紹介	1033 1889	中川 中川
	合計4事業	合計	4377	

2. 講演会

期 日	題 名	講師	内 容	場 所	参加者	担当
3月19日	特別講演会「アムール川がはぐくむ豊かな海・オホーツク」	中塚武	オホーツク海の豊かさを産み出すメカニズムを紹介	映像展示室	58	中川

3. 博物館講座

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月8日	ヤナギの花観察会	ヤナギをはじめ早春の花の観察	町内	5	内田
6月18日	知床の地質観察会	知床の地質巡検	町内	5	合地
7月10日	武佐岳植物地質観察会	高山植物と地質の観察	武佐岳	7	合地
8月7日	来運遺跡町民見学会		来運	11	松田
8月9日	夏休み体験講座1	はた織り体験	博物館	6	松田
8月10日	夏休み体験講座2	海岸の植物採集と標本作り	斜里前浜	4	内田
8月11日	夏休み体験講座3	なんでも探検隊	博物館	4	中川
8月12日	夏休み体験講座4	石をみがいてみよう	埋蔵文化財センター	3	合地
9月30日	はたおり体験	はたおり展示会に合わせたはたおり講座	博物館ホール	7	松田
11月13日	オオワシの渡りと海鳥観察会	冬の渡り鳥の観察会	知布泊漁港	12	中川
11月26日	秋の星座とアンドロメダ大星雲観察会	(曇天のため中止)	天体ドーム室	-	合地
12月28日	餅つき大会	開館記念、白と杵をつかった餅つき体験	博物館	46	松田
2月18日	冬の森の生きもの観察会	大栄海岸林にて自然観察会	大栄	3	内田
2月25日	流水の海の動物観察会	羅臼の海で船上観察会	羅臼	11	中川
2月25日	土星・火星と冬の星座観察会	冬の星座などの観察	天体ドーム室	4	合地
	合計14講座企画(12講座実施)		合計	128名	

4. 生涯学習連携事業

平成16年度より北海道斜里高等学校で総合学科が開設され、平成17年度には各学芸員が総合学科の講義「知床自然概論」に外部講師として参加した。また町教育委員会主催の高齢者むけ講座「生きがい大学」専門課程に講師として参加した。

1) 学校教育連携・公民館講座

期 日	事 業 名	内 容	場 所	担 当
5月18日	斜里高知床自然概論1	知床の火山活動	斜里高	合地
6月1日	斜里高知床自然概論2	岩石薄片制作	埋文センター	合地
6月22日	斜里高知床自然概論3	岩石薄片観察と知床の形成	斜里高	合地
6月24日	教員初任者研修	施設案内と館周辺の自然観察	博物館	内田
6月24日	朝日小総合学習	知床の生物	博物館	中川
8月31日	社教ウトロ自然観察会	知床半島の形成	ウトロ	合地
9月6日	川上小野鳥観察	海鳥の観察	オシンコシン	中川
9月8日	朝日小いきいき学習	知床の自然	博物館	合地
9月21日	斜里高知床自然概論4	植物観察の基礎	斜里高	内田
9月22日	斜里小発掘体験学習	発掘体験	ウトロ遺跡	松田
10月5日	斜里高知床自然概論5	秋の海岸林観察会	発見の森	内田
10月15日	羅臼町知床キッズ自然観察会	知床の火山活動と地形	羅臼	合地
10月18日	朱円小自然学習	ピオトープの学習	朱円小	中川
10月18日	斜里高発掘体験学習	発掘体験	ウトロ遺跡	松田
10月19日	大谷幼稚園自然観察会	木の実や種など秋の自然観察	町民公園ほか	中川
10月20日	斜里中職場体験学習	博物館業務の体験	博物館	合地
10月21日	朝日小博物館見学	知床の自然	博物館	中川
11月2日	斜里高知床自然概論6	水鳥の観察	斜里川・斜里高・博物館	中川
11月2日	斜里小2年生活科見学	博物館・斜里町の自然	博物館	合地
11月4日	斜里中総合学習	斜里町の自然学習	博物館	中川
11月4日	ウトロ小3・4年博物館学習	知床の自然	博物館	中川
11月9日	斜里高知床自然概論7	オオワシとオジロワシ	博物館	中川
11月16日	斜里高知床自然概論8	シマフクロウ	博物館	中川
11月18日	朝日小2年総合学習	知床の自然学習	博物館	内田
11月24日	斜里小4年総合学習	アイヌ文化の学習	博物館	中川
12月8日	朝日小3年校外学習	斜里の歴史	博物館	松田
2月1日	清里中総合学習	清里の自然学習	清里中	内田
2月15日	斜里高知床自然概論発表会	高校生による学習成果の発表	博物館	中川
			合計28事業	



特別講演会



知床の地質観察会

2) 生きがい大学専門課程

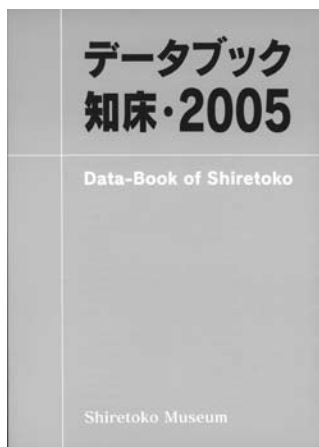
期日	時間	会場	テーマ	受講生	担当
4月21日	13:00-14:45	映像展示室	斜里町の自然と歴史概要解説、博物館活動紹介	28	中川
5月12日	13:00-14:45	映像展示室	知床国立公園のたどった道	32	中川
6月2日	13:00-14:45	映像展示室	大陸の動きと生物の進化	36	合地
6月16日	10:00-11:45	映像展示室	隕石の衝突と地球の進化	36	合地
7月7日	13:00-14:45	映像展示室	日本人の起源	31	合地
8月4日	13:00-14:45	来運1遺跡	来運1遺跡、遺構出土状況見学	29	松田
9月1日	13:00-14:45	映像展示室	知床海岸植物調査から	33	内田
9月15日	13:00-14:45	映像展示室	知床岳・遠音別岳調査から	36	内田
10月13日	10:00-11:45	ウトロ遺跡	ウトロ遺跡発掘調査見学会	28	松田
11月17日	13:00-14:45	映像展示室	博物館課程まとめと特別展見学	37	中川
1月25日	10:00-12:00	漁村センター	知床の鳥	10	中川
3月8日	10:00-12:00	漁村センター	斜里・知床の董	13	内田
合計 12 講座				349 名	



開館記念もちつき大会



斜里高校「知床自然概論」



第 27 回特別展解説資料



しれとこライブラリー7



博物館のひろば

5. 研修受け入れ

1) 博物館学学生実習

期 日	所 属 大 学	内 容	人 員	担 当
9月1-9日	帯広畜産大学	大学における学芸員資格取得実習	1	各学 芸員
	北海道教育大学釧路校	〃	1	
	札幌大学	〃	2	
			(合計)	4

2) 北海道博物館協会学芸職員研修会

期 日	内 容	参加者	担 当
8月25-26日	道内学芸員の資質向上と生涯学習社会における博物館のありかたについての研修会	35	中川

2) 北海道大学文学部考古学実習

期 日	所属学校	内 容	参加者	担 当
9月25日-10月5日	北海道大学	考古学フィールドワーク体験研修	30	松田

6. 出版・広報活動

出版物名	発行期日	内 容	担 当	規 格	対 象	部 数
第 27 回特別展図録	2005.10.8	データブック知床・2005	中 川	A5 判 119P	一般	1,000
博物館のひろば No.94	2006.3.1	土器のかたちと文様の美 1	松 田	A4 判 2P	町内全	6,000
博物館のひろば No.95	2006.4.1	土器のかたちと文様の美 2	松 田	A4 判 2P	町内全	6,000
タンネウシ No.161	2005.4.30	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.162	2005.5.20	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.163	2005.6.30	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.164	2005.7.31	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.165	2005.8.31	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.166	2005.9.22	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.167	2005.10.25	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.168	2005.11.22	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.169	2005.12.22	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.170	2006.1.27	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.171	2006.2.25	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
タンネウシ No.172	2006.3.30	行事案内・博物館情報	平清水	A4 判 2P	会員他	500
しれとこライブラリー第7巻 「知床の植物Ⅱ」	2006.3.31	知床の海岸植物など	内 田	A5 判 240P	町内外	900
ホームページ公開	随時	展示案内・行事案内・出版物他	内 田		町内外	29,816

3. 調査研究・資料収集

1. 調査研究活動

調査名	期間	内容	担当
埋蔵文化財調査			
ウトロ遺跡	4-6月, 9-11月	ウトロ地区の縄文・オホーツク期遺跡発掘調査	松田
来運1遺跡	7-8月	来運地区の縄文遺跡発掘調査	松田
行政連携調査			
アライグマ生息状況調査(環境省・北大)	11月	生息状況調査への協力	中川
共同調査			
発掘調査(北大)	9月15日-10月7日	ウトロ・チャシコツ岬下遺跡発掘調査	
古環境調査	9-11月	過去のエゾシカ食害による植生への影響調査	松田
オジロワシ繁殖モニタリング調査	4-9月	斜里町内営巣状況調査	中川
オオワシ・オジロワシ越冬状況調査	10-3月	知床半島の越冬状況調査	中川
個別調査			
稀少鳥類調査	通年	知床半島及び周辺の生育状況	中川
考古・歴史資料調査	通年	町内考古資料(縄文・オホーツク期)調査	松田
町内植物相調査	通年	標本採集と同定, 整理作業	内田

2. 資料収集・保存事業

分野	期間	内容	担当
植物資料作成・保存	通年	植物採集・標本作製・整理	内田
各分野の資料受入と保存	通年	資料収集・整理・保管・登録台帳整備	各学芸員

新規受入資料

動物	歴史	民俗	美術	合計
66	3	186	4	259



エトロフウミスズメ保護



漂着油汚染鳥類回収同定作業

3. 個別活動

中川 元

担当: 動物

1) 報文

中川元, 2005, 100 平方メートル運動の森における希少鳥類復元検討結果, 知床博物館研究報告 26: 55-60.

中川元, 2005, 知床国立公園のたどった道, 北海道の自然 43: 18-21.

中川元, 2005, 世界遺産と博物館, 博物館研究 40: 4.

中川元, 2005, 知床半島の開発と自然保護, 農業と経済 71: 30-38.

石城謙吉・中川元, 2005, 肉食獣再導入問題をめぐって, 知床博物館研究報告 26: 29-36.

増田泰・中川元, 2005, 知床博物館が受け入れたオオワシ・オジロワシの保護原因, 知床博物館研究報告 26: 15-20.

白木彩子・中川元, 2005, 知床半島におけるオジロワシの繁殖状況, Strix 23: 115-123.

2) 館外活動

2005.7.14 他 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会哺乳類分科会, 東京都

2005.8.4 第9回国際哺乳類学会シンポジウム・知床とイエローストーン講演「知床国立公園の歴史的展望」, 札幌市

2005.8.26 他 知床世界遺産候補地科学委員会, 斜里町・札幌市

2005.7.6 網走南部森林管理署平成 17 年度安全大会特別講話講師「知床世界史線遺産登録にむけて」, 小清水町

2005.11.7 第 54 回日本森林学会北海道支部大会講演「知床の世界遺産登録と野生生物の保全」, 札幌市

2005.12.21 高規格幹線道路旭川紋別自動車道環境技術検討委員会, 札幌市

2006.3.1 野生生物保護対策検討会オオワシ・オジロワシ保護増殖分科会, 札幌市

3) 調査研究

なし

合地信生

担当: 地質

1) 報文

合地信生, 2005, 三内丸山遺跡出土石斧の産地と流通について, 青森県教育庁文化財保護課三内丸山遺跡対策室(編), 平成 16 年度特別史跡三内丸山遺跡報告会, pp. 6-10, 青森県教育庁文化財保護課三内丸山遺跡対策室, (配付資料)

2) 館外活動

2005.10.22 沙流川歴史館講座「青トラ石と石斧」, 平取

3) 調査研究

なし

松田 功

担当: 考古・昆虫

1) 報文

松田功, 2005, 斜里町文化財調査報告 XXVII 来運 1 遺跡・来運 5 遺跡発掘調査報告書, 186 pp, 斜里町教育委員会, 斜里.

松田功, 2005, ウトロ遺跡発掘調査概要報告書, 20 pp, 斜里町教育委員会, 斜里.

2) 館外活動

2005.12.14 網走管内公民科研究会講師「知床の自然と人々の足跡」, 斜里

2005.12.17 北海道考古学会遺跡調査報告会講師「斜里町来運 1 遺跡」, 札幌

3) 調査研究

知床半島内における古環境調査

内田暁友

担当: 植物

1) 報文

なし

2) 館外活動

なし

3) 調査研究

なし

4.文化財保護

1. 指定文化財

1) 国指定文化財

斜里町には下記の国指定特別天然物（鳥類1種）と天然記念物（鳥類6種、蝶類1種）が周年あるいは季節的に生息しており、生息地の保護、事故防止対策、密猟防止対策、生息状況調査等を実施している。このうち、オジロワシ、オオワシ、エゾシマフクロウ、タンチョウの4種は「種の保存法」による国内希少野生動植物種にも重ねて指定されており、環境省との連携の元に保護対策を実施している。

名 称	指定年月日	所 在 地
特別天然記念物 タンチョウ	昭和27年(1952)3月29日	地域を定めず主な生息地—北海道
天然記念物 オジロワシ	昭和45年(1970)1月23日	地域を定めず主な生息地—北海道
オオワシ	昭和45年(1970)1月23日	地域を定めず主な生息地—北海道
エゾシマフクロウ	昭和46年(1971)5月19日	地域を定めず主な生息地—北海道
クマガラ	昭和40年(1965)5月12日	地域を定めず主な生息地—北海道
ヒシクイ	昭和46年(1971)6月28日	地域を定めず主な生息地—北海道
マガン	昭和46年(1971)6月28日	地域を定めず主な生息地—北海道
カラフトルリシジミ	昭和42年(1967)5月2日	地域を定めず主な生息地—北海道

2) 北海道指定文化財

朱円周堤墓は縄文時代後期の墳墓群で、墓をめぐる土堤が環状に築かれているところから周堤墓または環状土籬と呼ばれる。戦後間もない昭和23・24年に河野広道北海道教育大学教授（当時）によって発掘調査が行われた。周堤墓は2つあり、直径28mと32mの円形の土堤をめぐるしている。出土品は知床博物館で常設展示している。

朱円堅穴住居跡群は斜里沿岸に広がる海岸砂丘上にあり、森の中におびただしい数の窪んだ住居跡が見られるため「朱円千穴」と呼ばれて親しまれてきた。住居跡の形態から、この砂丘には数千年にわたる縄文文化中期から続縄文文化期、それに続く擦文・オホーツク文化期の様々な人々が住み続けたと考えられている。

オシクシクシク粗粒玄武岩柱状節理はウトロの南西約5.5kmに位置するオシンコシン崎にあり、その姿から「俵石」と呼ばれている。ここに分布する第三紀中新世の頁岩層に粗粒玄武岩の岩脈が貫入するという地下でのマグマ活動に加え、オホーツク海の激しい風化作用によって岩石が浸食され生れた美しい縞模様の特徴となり、横向きの柱状節理と岩柱に直角に発達する縞状構造が見られる。岩石標本を知床博物館で常設展示している。

斜里海岸の草原群落は斜里川西方の海岸、東西約2.5kmにわたる自然草原の群落で、エゾスカシユリ・ハマナス・エゾゼンテイカなど50種をこえる野生の草花が観察できる。周囲は網走国定公園に指定され、遠方には斜里岳、海別岳、知床連山が見えるオホーツク地方の景観を代表する場所でもある。

名 称	指定年月日	場 所	所有者	面 積
史跡 斜里朱円周堤墓および出土遺物	昭和32年(1957)1月29日	朱円西区東一線	斜里町	1.4 ha
朱円堅穴住居跡群	昭和42年(1967)6月22日	朱円国有林内	農林水産省	24.2 ha
天然記念物 オシクシクシク粗粒玄武岩柱状節理	昭和48年(1973)3月14日	オシンコシン海岸	建設省	2.2 ha
斜里海岸の草原群落	昭和25年(1950)8月28日	美咲国有林内	農林水産省	96 ha

*所有者が国の文化財の管理団体はいずれも斜里町

3) 斜里町指定文化財

初代斜里場所請負人三代目村山伝兵衛が寛政8年(1796)に豊漁を祈願して寄進した社祠である旧斜里神社拝殿、文久2年(1862)斜里場所請負人藤野家の支配人三右衛門によって斜里神社に奉納された絵馬、享和元年(1801)幕府役人北陰政幸らが斜里旅行中に宗谷から止別までの地名を折込み和歌にし斜里神社に奉納した歌枕額は知床博物館で常設展示している。

また、文化4年(1807)斜里地方の沿岸防衛を命ぜられた津軽藩士100余名が厳しい越冬期間中に浮腫病にかかり次々と死亡し、翌年故郷したのはわずかに17名という「津軽藩士の殉難事件」に関連した文化財が6件指定されている。禅龍寺保管の「津軽藩士死没者の過去帳」を除き、これらは町民公園など博物館周辺で公開されている。

平成15年(2003)には新たに斜里神社石灯籠が指定された。これは天保5年(西暦1834年)に奉納された一对の石灯籠で、三上伴七(当時のシャリ場所支配人)と畑藤清六郎右衛門(シャリ場所を請け負っていた藤野喜兵衛の持ち船住吉丸の船頭)が斜里神社に寄進したものと考えられている。

名 称	指定年月日	場 所	所有者	種 別
旧斜里神社拝殿	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	建造物
絵馬	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	有形
歌枕額	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2知床博物館	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	本町49番地2町民公園	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	朝日町4番地2	日蓮宗日照寺	有形
津軽藩士死没者の過去帳	昭和57年(1982)7月1日	本町47番地2	曹洞宗禅龍寺	有形
津軽藩士シャリ陣屋跡	昭和62年(1987)7月1日	本町52番地24		史跡
津軽藩士墓所跡	昭和62年(1987)7月1日	本町49番地2町民公園		史跡
シャリ運上屋(会所)跡	昭和62年(1987)7月1日	港町8番地28		史跡
斜里神社石灯籠	平成15年(2003)3月26日	本町44番地斜里神社境内	斜里神社	有形

※斜里朱円環状土籬の出土遺物および上の町指定文化財3件は、知床博物館内において常設展示しています。

2. 登録文化財

旧根北線は、知床半島の基部を横断し北見地方と根室地方を結ぶ路線として昭和13年に着工された。昭和15年には第一幾品川橋梁(通称越川橋梁)が斜里町越川地区に完成。しかし鉄道建設工事はこの年に中断され、橋梁は使われないまま戦後を迎え今日に至った。

越川橋梁は長さ147m、高さ21.7mの10連アーチ型コンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。昭和48年に国道の改良工事によって橋脚の2本が撤去されたが、河畔林など周囲の自然環境にとけ込み、美しい姿を今に留めている。また、戦時下の鉄筋を使用しない構造にも特徴があり、当時の土木技術を現代に伝える建造物である。

名 称	登録年月日	場 所	所有者	種 別
旧国鉄根北線越川橋梁	平成10年(1998)7月23日	字越川245番8他	斜里町	有形

3. 埋蔵文化財

今年度は一般国道334号ウトロ道路改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を1箇所の遺跡で、遺跡保存のための埋蔵文化財発掘調査を1箇所の遺跡でおこない、合計2箇所の遺跡調査を実施した。遺跡名、遺跡登載番号、調査面積、調査期間、主な遺構、遺物は次の通りである。(担当: 松田)

1) 来運1遺跡 (I-08-61)

面積: 242 m²。調査期間: 平成17年7月1日-8月31日。

斜里市街地から南へ約10 km、標高約38-47 mの斜里岳山麓に位置し、平成16年度に確認された良好な炭化材が検出された遺構の規模確認とその保存を目的とした調査をおこなった。調査の結果、遺構は直径約13 mの規模をなす楕円形の縄文中期の土葺伏屋式平地建物跡であることが判明し、国内の縄文期平地建物跡の存在を立証するものであった。この中から出土した遺物は土器48点、石器366点、レキ19点の合計433点であった。このほか炭化材が1,589点であった。

2) ウトロ遺跡 (I-08-1)

面積: 2,261 m²。調査期間: 平成17年4月11日-6月30日、9月1日-11月30日。

ペレケ川右岸の標高約4-7 mの海岸砂丘上に位置し、埋め立てられた港湾部をのぞくウトロ中心市街地全域がこの遺跡に含まれる。遺構は続縄文文化期の竪穴住居跡3軒、土壇墓6基、土坑18基、オホーツク文化期の竪穴住居跡2軒、土壇墓6基、土坑3基を確認した。オホーツク文化期の住居は重複しており、下部のものは焼失住居であった。遺物は土器12,713点、石器11,912点、レキ1,606点、炭化物ほか972点の合計27,203点であった。土器は縄文晩期から擦文文化期まで出土しており、主なものは続縄文文化期前半の宇津内II式から後半の後北C2・D式、オホーツク文化期の刻印および貼付文であった。



来運1遺跡



ウトロ遺跡

